

第3学年 社会科（公民）学習指導案

期 間 平成17年9月1日～9月28日

対 象 一関市立弥栄中学校3年A組

男子5名 女子8名 計13名

授業者 浅野 始 央

1 単元名 「地方自治」

2 単元について

これからの日本を担っていく生徒にとって、「民主主義の学校」とされる「地方自治」の学習をとおして、その基本的な考え方や仕組みを知るだけにとどまらず、主権者の一人として、また、そこで生活する住民の一人としての自覚を育てることが大切である。さらに、豊かな地域づくりのために自分たちにできることを考える力を育てることも大切である。

日本国憲法では、第8章で地方自治を保障し、「地方自治法」などでこれを具現化してきたが、現実には、機関委任事務や補助金制度などにより、地方自治が十分に機能してきたとは言い難い。このような状況を改善するために、2000年4月1日に「地方分権一括法」が施行され、法律上、国と地方とが対等・協力の関係となり、地方自治体は自己決定権を持つようになった。

また、合併特例法の成立により全国的に市町村合併が進んでいる。一関市においても9月20日に7つの市町村が合併して新・一関市となる。合併後のまちづくりは住民の積極的参加が不可欠であり、その住民にはもちろん中学生も含まれる。しかし、生徒にとっては中学生向けの情報の不足もあり、合併のメリットやデメリットについて考えることが難しい。そこで、合併後の市がどのようになっただけかについて調査・体験的な活動をとおして追究させることにより、地域住民としての意識を高めることができるとともに、多面的・多角的な見方や考え方を身に付けさせることができると考える。

3 指導について

本単元の指導では、「地域の将来を考える条例づくり」の体験をとおして、公民的分野における考える力を育てたい。

現代のような急速に変化する社会の中では、知識を獲得しても、ただそれを記憶するだけでは意味がない。なぜなら、知識は常に更新されているからである。重要なことは、獲得した知識を基にして、筋道を立てて物事を考えたり、新しい問題を解決したりする力が身に付いているかどうかである。これは、社会科のねらいである公民的な資質を養うことにつながるものである。なぜなら、公民的な資質を養うとは、社会生活の様々な場面で多面的・多角的に考えたり、公正に判断したりしながら、社会の中で望ましい行動ができるようにすることだからである。これは、社会を主体的、創造的に生きていくのに必要とされる「生きる力」でもあることから、それを育成することを目標とする社会科の果たす役割は、きわめて大きい。

昨今、社会科では「調べて考える」学習活動が見直されている。これは、社会的事象について単に調べて終わるのではなく、「調べながら考える」「調べたことから考える」という「考える」場面や過程をくぐらせることで、生徒自らが社会的事象の意味や働き、役割を考えることができるよ

うにすることが大切だからである。

新しい市の条例をつくる学習は、市町村合併の当事者である生徒にとって、興味・関心をもちやすい事象である。また、新しい一関市の将来を考える条例をつくる学習は、その過程の中で、地方自治の基本的な考え方や仕組みを学ぶことができる。また、合併について、政治的な面や経済的な面から、そのメリットやデメリットを調べたり、住民や消費者などの立場の違いや世代の違いによる考え方の違いを調べたりすることによって、より多くの事実や考えを基にして、自分なりに考える力を育てることができる。このことから、地方自治の学習の中で地域の将来を考える条例づくりを体験させることは、「考える力」を育てるために意義があると考えられる。

4 評価規準

(1) 単元の評価規準

	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
単元 の 評 価 規 準	地方公共団体の政治に対する関心を高め、それを意欲的に追究することを通して、民主的な政治について考えようとしている	地方公共団体の政治に関して、自分の住む市町村に着目し、地方自治の意義について多面的・多角的に考察し、それを支える一人の住民として、民主的な政治の在り方について様々な考え方や立場から公正に判断している	地方公共団体の政治に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、地方自治、とくに自分の住む市町村について追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている	地方自治の基本的な考え方、地方自治体の政治のしくみについて、自分の住む市町村の事例をもとに理解し、その知識を身に付けている
学 習 活 動 に お け る 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> 一関市の政治に対する関心が高まっている 自らが自らを治めるという民主政治の基本的な考え方に基づいて一関市の合併について意欲的に追究している 条例づくりをとおし、積極的に地域とかわらうとする意欲が高まっている 	<ul style="list-style-type: none"> 住民が主人公であるという地方自治の意義をとらえ、一関市の合併について多面的・多角的に考察している 合併について、様々な事実や考えがあることを踏まえて、合併後の課題について自分なりの解決策や新しまちづくりのために自分もできることを考察している 	<ul style="list-style-type: none"> 一関市の合併に関する資料を様々な情報手段を活用して収集し、そこから学習に役立つものを適切に選択している 自らが自らを治めるという民主政治の基本的な考え方に基づいて、一関市の合併について追究し、考察した過程や結果をまとめている 自分の考えを地域の将来を考える条例としてまとめている 	<ul style="list-style-type: none"> 地方自治は住民参加による住民自治が基本であること、また、その政治は首長と議会の二つの機関を中心に行われていることを理解しその知識を身に付けている 地方自治の意義を生かすためには、地方分権が必要なことを理解しそれにかかわる知識を身に付けている

(2) 学習の段階ごとの評価規準

	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
つかむ段階	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの住んでいる一関市への関心が高まり、地域の課題である市町村合併を調べることへの意欲が高まっている 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村合併についての様々な資料や自分の経験から、一関市の合併についての疑問点や問題点を考察している 疑問点や問題点を解決する方法を考察している 	<ul style="list-style-type: none"> 一関市の合併について調べることや調べる方法をつかんでいる 	<ul style="list-style-type: none"> 地方自治は住民参加による住民自治が基本であることを理解し、その知識を身に付けている 地方自治体の政治が、首長と議会の二つの機関を中心に行われていることを理解し、その知識を身に付けている 住民の意思を地方自治体の政治に反映させるために、直接請求権や住民投票の権利が認められていることを理解し、その知識を身に付けている 地方公共団体独自の政策の根拠となるものが条例であることを理解し、その知識を身に付けている
追究する段階	<ul style="list-style-type: none"> 合併を自分とのかかわり度とらえて、一関市の合併について意欲的に追究している 	<ul style="list-style-type: none"> 住民が主人公であるという地方自治の意義をとらえ、自分のテーマについて考察している 他の生徒の発表と自分の調べたことを比較、関連して、多面的・多角的に考察している 	<ul style="list-style-type: none"> 一関市の合併に関する資料を様々な情報手段を活用して収集し、そこから学習に役立つものを適切に選択している 追究し考察した結果をわかりやすくまとめて発表している 	<ul style="list-style-type: none"> 多面的・多角的な考察をすることによって、より多くの事実や考えを理解している
まとめる段階	<ul style="list-style-type: none"> 条例づくりをとおして積極的に地域とかかわろうとする意欲が高まっている 	<ul style="list-style-type: none"> 合併について、様々な事実や考えがあるということ踏まえて、合併後の課題について自分なりの解決策や新しいまちづくりのために自分にもできることを考察している 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを地域の将来を考える条例としてまとめている 	<ul style="list-style-type: none"> 地方自治の基本的な考え方、地方公共団体の政治のしくみについて一関市の事例をもとに理解し、その知識を身に付けている 地方自治の意義を生かすためには地方分権が必要なことを理解し、その知識を身に付けている

5 単元の指導計画

段階	時数	学習内容	・指導上の留意点 主な評価の観点 構成要素とのかかわり
つ か む	1	新一関市の市勢の概要をつかむ	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドを使う ・学習シートにまとめさせる ・合併までの経緯については深入りしない 自分たちの住んでいる一関市への関心が高まり、地域の課題である市町村合併を調べることへの意欲が高まっている（関心・意欲・態度）
	1	地方自治の基本的なしくみをつかむ	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治は生活に密着していることに気付かせる ・学習シートにまとめさせる ・団体自治の根拠となるものが条例であり、条例の制定を住民が求めることができることを理解させる 住民の意思を地方自治体の政治に反映させるために、直接請求権や住民投票の権利が認められていることを理解し、その知識を身に付けている（知識・理解）
	1	一関市の合併について、疑問点や問題点を明らかにする	<ul style="list-style-type: none"> ウェビング法を使って、一関市の合併について多面的・多角的に概観させる ウェビング法によって作ったかかわり図をもとに、合併についての疑問点や問題点を明らかにし、自分が調べるテーマを決定させる ・個人テーマと調べる方法の決定については、個別に支援する 市町村合併についての様々な資料や自分の経験から、一関市の合併についての疑問点や問題点を考察している（思考・判断） 一関市の合併について調べることや調べる方法をつかんでいる（資料活用の技能・表現）
追究する	2	自分のテーマについて調べてまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進行状況を把握し、遅れている生徒を支援する ・学習に役立つようなサイトをあらかじめ把握しておく ・調べたことを記入する学習シートとまとめるための学習シートを準備しておく 合併を自分とのかかわり度とらえて、一関市の合併について意欲的に追究している（関心・意欲・態度）

追 究 す る	1	発表を聞いて、わかったことと考えたことをまとめる	<p>一関市の合併に関する資料を様々な手段を活用して収集し、そこから役立つものを適切に選択している（資料活用の技能・表現）</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒がまとめたものを印刷して、事前に配布しておく <p>発表を聞いて、「なるほど」、「そういう考えもあったのか」など、発表から学んだことを学習シートに記入させる</p> <p>他の生徒の発表と自分の調べたことを比較、関連して、多面的・多角的に考察している（思考・判断）</p> <p>多面的・多角的な考察をとおして、一関市の合併について、より多くの事実や考えを理解している（知識・理解）</p>
	1	条例に盛り込みたいことをまとめ、条例を完成させる	<p>自分が調べたことや発表を聞いてわかったこと、考えたことをもとに、条例に盛り込みたいことをまとめさせる</p> <p>条例に盛り込みたいことを基に、条例を完成させる</p> <ul style="list-style-type: none"> 条例の様式はあらかじめ定めておく <p>条例づくりをとおして、積極的に地域とかかわろうとする意欲が高まっている（関心・意欲・態度）</p> <p>様々な考えや事実をもとに、合併後の課題についての自分なりの解決策などを考察している（思考・判断）</p> <p>自分の考えを、地域の将来を考える条例としてまとめている（技能・表現）</p>
ま と め る	1	作った条例の発表会を行い、互いに意見を交流する	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の作った条例を印刷して、事前に配布しておく 意見交流は、互いの考えを認め合う場となるようにさせる
		作った条例を地域に提案する	<ul style="list-style-type: none"> 行政へ提案する場合は、事前の打ち合わせや生徒の指導を十分に行う

6 展開

単元の 段 階	学習活動・内容	指導上の留意点
つ か む	<p>第1時 新一関市の市勢の概要をつかむ</p> <p>・合併する市町村 } 学習シート ・合併後の面積と人口 } にまとめる</p>	<p>・スライド（教師の自作）を使う } 興味・関心 ・クイズを取り入れる } を高める</p> <p>・地図上で、東京都の面積と新一関市の面積を比べる 視覚的に理解させる</p> <p>・合併までの経緯については、ふれる程度とし、深入りはしない</p> <p>・国の施策について、簡単に説明する</p>
	<p>第2時 地方自治の基本的なしくみをつかむ</p> <p>・地方公共団体 } 学習シート ・首長 } にまとめる ・地方公共団体の仕事 ・地方議会 ・条例 ・直接請求権</p>	<p>・「地方公共団体」は自分の住所から気付かせる } 地方自治は生活 ・「地方公共団体」の仕事は、市の仕事を中心に考えさせる } に密着している ・住民の意思を地方公共団体の政治に反映させるための根拠となるものが条例であり、条例の制定を住民が求めることができることを理解させる } ことに気付かせる</p> <p>・学習シートは、生徒が考えながらまとめられるように工夫する</p>
	<p>新しい一関市の将来への願いを込めて条例を作ろう</p>	
	<p>第3時 一関市の合併について、疑問点や問題点を明らかにする</p> <p>1 ウェビング法を使って、一関市の合併について多面的・多角的に概観する</p> <p>2 1をもとに、合併についての疑問点や問題点を、各自が付箋紙に記入する</p> <p>3 付箋紙に記入したものをKJ法を用いて分類する</p> <p>4 3をもとに、調べ学習の個人テーマを決定する</p>	<p>・お互いの発言を笑ったり、馬鹿にしたりしないように事前に指導しておく</p> <p>・生徒はウェビング法に慣れていないので、最初は教師が例を示す</p> <p>・KJ法で分類することによって、多面的・多角的な見方を再確認する</p> <p>・個人テーマと調べる方法の決定は、個別に支援する</p>
追究する	<p>第4時～第5時 自分のテーマについて調べてまとめる</p> <p>1 計画に従って調べる ・インターネット ・電話 ・アンケート</p>	<p>・学習の進行状況を把握し、遅れている生徒を支援する</p> <p>・校外に出て調べる生徒には、交通安全についての指導を行う</p>

追 究 す る	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー など 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話のかけ方の指導をしておく ・インターネットを使う生徒には、ネチケットや検索の仕方を指導しておく ・学習に役立つようなサイトを予め教師が把握しておく
	<p>2 調べたことをまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習シートにまとめる <p>第6時</p> <p>発表を聞いて、わかったこと考えたことをまとめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをすべて記入しておく学習シートと「これだけは知ってもらいたい」または「訴えたい」ことをまとめる学習シートを準備しておく
ま と め る	<p>1 各自が調べてまとめたこと（「これだけは知ってもらいたい」または「訴えたい」こと）を発表する</p> <p>2 発表を聞いて、「なるほど」、「そういう考えもあったのか」など、発表から学んだことを学習シートに記入する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒がまとめたものを印刷して、事前に配布しておく ・発表の聞き方は事前に指導しておく
	<p>第7時</p> <p>条例に盛り込みたいことをまとめ、条例を完成させる</p> <p>1 自分が調べたことや発表を聞いてわかったこと、考えたことをもとに、条例に盛り込みたいことを学習シートにまとめる</p> <p>2 条例に盛り込みたいことをもとに、条例を完成させる</p> <p>第8時</p> <p>作った条例の発表会を行い、互いに意見を交流する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・条例に盛り込みたいことは、「行政に望むこと」、「住民に望むこと」、「自分にできること」の三つについてまとめさせる ・条例の様式は、予め定めておく
め る	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の作った条例を発表する ・友だちの作った条例についての、意見を発表する 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の作った条例を印刷し、事前に配布しておく ・意見交流は、お互いの考えを認め合う場となるように配慮する
	<p>作った条例を地域に提案する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭での展示 ・市役所へ提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政へ提案する際は、事前の打ち合わせや生徒の指導を十分に行う